

O H E N R O

しあわせの道しるべ 出会いを招く、香川の遍路

Lore Kagawa

”寄り道遍路“でエネルギーをチャージ

香川県にある札所は全部で23寺。

面積でいえば四国はもとより、全国でも最小の香川県ですが、それだけに札所も比較的まとまっており、時間が限られた旅の日程でも無理なくお参りすることができるのいいところ。

また、見て聞いて食べて、その土地らしさを体感することも旅の醍醐味。

香川県には、瀬戸内海の魚介や新鮮な野菜・果物のほか、

お洒落な地場産品など、名産の讃岐うどんだけじゃない、

見逃せないグルメやお土産品がたくさん。

加えて、”瀬戸内国際芸術祭“が開催されるなど、

全国有数のアートの地でもあり、伝統文化から現代アートと幅広く、自然景観、建築物など、様々な形のアートにふれることもできます。

お参りでアウトプット、寄り道でインプット。

ぜひ、讃岐の地をまるごと味わって、自身の活力を満たしてください。



女優／木内晶子 Akiko Kinouchi

うどん県副知事。1981年生まれ。香川県高松市出身。中学・高校時代は生徒会役員を務める。

1997年に「ザ・ジャパン・オーディション」俳優部門に合格。

1998年にドラマ「PU-PU-PU」に初出演後、「踊る大捜査線シリーズ」などのドラマ、CMに出演。

2009年、高松市の女木島・男木島を舞台にしたオムニバス映画「めおん」に主演。

香川県公式観光サイト「うどん県旅ネット」 URL／www.my-kagawa.jp

うどん県旅ネット

検索

しあわせに出会う、お遍路へ

香川県で生まれた弘法大師が修行した場所やその足跡をたどる「四国遍路」。

「一番札所から順番にまわる」「順打ち」が一般的ですが

八十八番札所から逆にまわる「逆打ち」もあります。

そのいわれは、今も生きて、四国のどこかを歩いていると信じられている

弘法大師が「順打ち」で巡っているの、

「逆打ち」で巡れば、弘法大師に出会いやすくなるというもの。

日常を離れ、ゆつくり想いを巡らすことができるお遍路の旅は、

自身の心と向きあえるまたとない機会。

札所を巡るごとに心は軽くなり、道中だけではなく、日々の

さまざまな出会いに「ありがとう」という気持ちも生まれるでしょう。

人やモノ、コトに思い…どの出会いを欠いても今の自分はないのだから。

解き放たれた心に見えるすがすがしい景色こそ、

お遍路という「自分に出会う旅」のご利益です。

この冊子は香川県出身、うどん県副知事でもある

女優の木内晶子さんが、都会で働く等身大の女性の代表として

香川から巡るお遍路の旅をつづったストーリーブックです。

※「札所」「打」とは

古来、巡礼者がお寺を参拝した際に、木製や銅製の御札を柱に打ちつけていたことに由来して、
お寺を「札所」、また札所をめぐることが「打つ」といいます。



大興寺



神恵院・観音寺



本山寺



弥谷寺



曼荼羅寺

どんなときも、一人じゃない

いやだにじ

弥谷寺

古来より霊山として崇められてきた弥谷山の中腹にある弥谷寺。深緑に覆われた石段の脇には、古い墓石や五輪塔が点在し、俗世と一線を画す空気感があります。仁王門から本堂までは540段もの石段が待ち受けていて、この山が仏様の領域であることを物語っているようです。

大師堂の奥にある「獅子之岩屋」と呼ばれる洞窟は、幼少のころの弘法大師が修行に励んだ場と伝えられており、また、唐から帰国して再訪したときにも、ここで護摩を修したという言い伝えが。その際納めた、五柄の剣と五鈷鈴に由来して「剣五山」という山名になったそうです。

「仏教では仏の住む山を弥山（みせん）といい、だから「弥谷」は仏の谷という意味なんです」と住職。こういう場所に来ると、仏様の存在をそばに感じられます。心が荒んでいるときはつい感謝の心を忘れてしまうけれど、どんなときも一人じゃない。ありがたいことです（木内さん）



第七十一番札所
剣五山 千手院 弥谷寺
けんござん せんじゅいん いやだにじ
住所／香川県三豊市三野町大見70
電話／0875-72-3446



「しあわせ」が後世に続きますように

神恵院・観音寺

じんね いん かのん じ



第六十八番札所
七宝山 神恵院
しっぽうさん じんねいん

第六十九番札所
七宝山 観音寺
しっぽうさん かのんじ

住所／観音寺市八幡町1-2-7
電話／0875-25-3871

2つの札所が、同じ境内にある極めて稀な霊場。共通の山門から入り、左右に分かれてそれぞれのお堂があります。観音寺の本堂は国の重要文化財に指定されている室町時代のもの。一方、神恵院の本堂は2002年に建てられたもので、打放しコンクリートの近代的な造り。「続けてお参りすると、まるで時空を飛び超えたみたいです(木内さん)」

当初、この2つの札所は、日証上人が琴弾八幡宮の別当寺として創立した「神宮寺」という名前でしたが、弘法大師が7代目の住職をつとめたときに寺名を「観音寺へ」。その後、明治初年の神仏分離で、琴弾八幡宮の本地仏を西金堂に移すことになり「神恵院」が誕生しました。

「長い歴史のなかで、名前を変え、形を変えながらも、ずっと受け継がれてきたお寺という存在。いつの時代も人の世には、悩みを受け止めてくれる存在が必要だったということなのでしょいか。私が願うことも、後世につながっていくのだと思うと、感慨深いです(木内さん)」





第六十七番札所
小松尾山 不動光院 大興寺
こまつおざん ふどうこういん だいこうじ
住所／香川県三豊市山本町辻4209
電話／0875-63-2341

心に寄り添ってくれる
あたたかな灯りに癒やされて

だいこうじ
大興寺

地元の人に「小松尾さん」と親しまれている大興寺。のどかな田園風景に向かって威風堂々とそびえ立つ仁王門には、四国霊場最大の寄木造りの金剛力士像が安置されていて、見ごたえたっぷり。その仁王門をくぐると、弘法大師御手植えと伝わるクスやカヤの大木の悠々とした佇まいを仰ぎ見ることが出来ます。

本堂に向かって左側は真言宗の弘法大師堂、右側は天台宗第三祖智顗を祀る天台大師堂があり、同じ境内に異なる宗派の大師堂が並んでいることでも有名。お遍路に宗派は関係なく、お参りする心が大事と聞きましたが、まさにその風景を目の当たりにした感じがします(木内さん)」

また、本堂で灯されている赤い蠟燭は「七日燈明」と呼ばれる祈祷の一種。病氣平癒や安産、良縁などのご利益があるといわれています。「揺れる炎を見てみると、不思議と心が落ち着くのは、気持ちと重なるところがあるからかもしれません。お遍路を体験することで、自分の心と向き合える機会を得られたのが私にとってのご利益でした(木内さん)」

札所巡りで、運をきり開く

素直な自分へ導き、新しい扉を開けてくれるお遍路の旅。
札所を巡り終えたときに感じる開放感は、ほかならぬ自分自身へのご褒美。



もとやま じ 本山寺

四国霊場中4札所だけにある五重塔が壮観。1300年創建の本堂は、鎌倉時代の折衷様式の傑作で、国宝に指定。また、本尊は頭上に馬頭をいただく観音様で、四国霊場唯一のもので。



第七十番札所
七宝山 持宝院 本山寺
しっぽうざん じほういん もとやまじ
住所／香川県三豊市豊中町本山甲1445
電話／0875-62-2007



まんだら じ 曼荼羅寺

飛鳥時代の596年創建の古刹。当初は「世坂寺」という名でしたが、唐から帰国した弘法大師が母の菩提を祈るため伽藍を建立。そこに大日如来を安置し現在の寺名に改名したと伝えられています。



第七十二番札所
我拝師山 延命院 曼荼羅寺
がばいしざん えんめいいん まんだらじ
住所／香川県善通寺市吉原町1380-1
電話／0877-63-0072

うんべん じ 雲辺寺

四国霊場中最高峰に位置している「雲辺寺」。僧侶たちの学問・修行の道場として栄えたことから、別名「四国高野」ともいわれています。参道脇にはリアルな表情の五百羅漢がずらりと並んでいます。



第六十六番札所
巨龜山 千手院 雲辺寺
きょござん せんじゅいん うんべんじ
住所／徳島県三好市池田町白地ノロウチ763
電話／0883-74-0066





農園直送のトロピカルフルーツをいただけるカフェ&ショップ。「もともと果物が好きで、食べたことのないめずらしいフルーツを提供したいと思ったのが、農園をはじめたきっかけです」と代表の安藤数義さん。竹を粉砕して乳酸菌で発酵した「さぬき孟芽」という肥料を使用して育てられるフルーツは、どれも糖度満点。カフェでは、その時穫れる果物の素材の味を最大限に生かしたシンプルなスイーツが食べられます。みずみずしい果物は、大切な人への贈りものにも最適です。

アンファーム



住所／香川県三豊市財田町財田上6476-1
電話／0875-67-2336
営業時間／9:00～17:00
休み／水曜
URL／fi-annfarm.com

うどんだけじゃない！
香川の「おいしい」最前線

旅の楽しみのひとつは、おいしいものを食べること。
地元自慢のとおきグルメで、エネルギーをチャージ。

冬椿



住所／香川県三豊市豊中町岡本1600-2
電話／0875-62-2076
営業時間／火曜～日曜 ランチ11:30～14:00
金曜・土曜 夜の部18:00～23:00(L.O.22:30)
休み／月曜
URL／www.niji.or.jp/home/cazu/fuyutsubaki.htm

潇洒な建物で、こだわりのカレーを提供するカレー屋さん。主なメニューは辛口でエスニック系の「夏カレー」と、マイルドでオーソドックスな「冬カレー」。夏カレーは、焼き鳥風の少し甘めの味付けをした讃岐コーチンが、ピリツとした辛さのアクセントに。冬カレーは、牛すじを使用して、お肉のうまみがぎゅつと濃縮されています。「ほどよい辛さが癖になり、疲れが吹き飛びます(木内さん)」。この味を求めて、わざわざ遠方から来る方もいるのだとか。田園風景とその先の七宝山を一望できるロケーションや、オーナー夫妻の朗らかな人柄もまた、この店の人気に拍車をかけています。

讃岐の 手まり作り 教室

住所／香川県三豊市豊中町本山甲1334-4
電話／090-8976-5004
営業時間・休み／電話で要確認
※教室は1週間前までの予約制

もみ殻を和紙で包んで成形した土台に、草木染めした木綿の糸を、ひと針ひと針かがって、模様を作っていく「讃岐の手まり」。この愛らしい手まりを、香川県の伝統工芸士で手まり作家の曾川満里子さんに教わりながら、自分で作ることができます。「デザインに正解はなく、独自の世界観を楽しめるのが魅力です」と曾川さん。「難しいかなと思っただけど、丁寧に教えてくださるので大丈夫。手作りって楽しいですね(木内さん)」



旅気分を盛り上げる、 香川のかわいいもの、すてきな風景

讃岐の伝統工芸である「讃岐の手まり」を体験したり、ひまわり畑で写真を撮ったり。あなたの旅を演出します。

ひまわり畑

香川県の南西部・まんのう町の仲南地区帆船を中心に、あたり一面に咲き誇るひまわりの花。食用油を採る為に栽培されているのですが、夏には「ひまわり祭り」も開催される、観光スポットとなっています。今年から帆船だけでなく仲南地区中山でもひまわりの植栽が始まり、約25万本が開花しました。「見渡す限り、ひまわりの花！山と山の合間に咲いていて、視線を遮るものがないので、まるで楽園のようです(木内さん)」



中山ひまわり団地
香川県仲多度郡まんのう町仲南地区
URL／www.town.manno.lg.jp/kanko/himawari.php